

防災かしの木

上尾かしの木特別支援学校
防災部 防災推進委員会

令和2年2月28日 第4号

もしも登下校中に大震災が起きたら…

<意識調査結果から>

- Q10 スクールバス運行経路・通学経路を把握している（81.1%）
- Q11 スクールバスの引き取り方法を具体的に検討している（37.1%）
- Q13 自力通学途中に大きな地震があった場合の対処法について子どもと確認している（23.5%）
- Q14 登下校途中に震災が起きた場合の課題や不安（主な意見を抜粋）
 - * 「パニックにならないか・バスの中で落ち着いて待てられるか」
 - * 「ひとりで安全に避難できるのか…」 * 「連絡や安否の確認ができるのか？」
 - * 「実際に引き取りに行けるのか…」 など…

災害の程度や発生の時間、周囲の状況等によっても対応が異なり、想定することすら難しい問題ではありますが、非常時に少しでも役立つように、日頃から基本的な事柄については確認しておき、備えておきたいところです。

1、情報の収集と発信

- スクールバスや道路の被災状況、スクールバスの所在地や自走の可否、路線バスや鉄道の運行状況など、電話やメールが利用可能な場合には、学校が情報を収集し「かしの木メール」で情報発信します。
- 電話やメールが混乱している場合には、災害伝言ダイヤルサービスが開設され次第、災害伝言ダイヤルを利用して情報の収集と発信を試みます。

【伝言の再生方法】

ダイヤル **171** (ガイダンス) → **2** (ガイダンス) → **048-776-4601** (ガイダンス)

2、スクールバスの安全の確保

- 余震や道路等の状況により、バスの自走が困難と判断された場合は、スクールバスは安全と思われる場所に待機します。来年度の各便の運行経路図に「想定される避難場所」も明記しますので、あらかじめご確認ください。メールや伝言ダイヤルも利用できず、バスの所在地が特定できない場合には、災害の発生時刻を目安に、運行時刻表と照らし合わせ、引き取りに向かってください。
- スクールバス便ごとに「救助班」を編成し、学校からも救助に向かいます。

○スクールバスには「備蓄水（500 ml×48本）と簡易トイレ」が搭載されています。防災調査では、バス内備蓄に加え、子供たちの不安を少しでも取り除くための対策をとる要望が寄せられました。今後、スクールバス部・バス会社と連携し検討を進めていけたらと思います。

3、自力通学生の安全確保

○方面ごとに「救助班」を編成し、学校からも救助に向かいます。発生時刻から3つの段階、

- ①「バス停・学校周辺」 ②「路線バス経路から上尾・蓮田・東大宮・大宮等の各駅」 ③「各駅から自宅までの経路等」に分け救助に向かいます。

○登下校途中の対処法については、今後の防災教育の中でも学習していきたいと思いますが、通学路の確認と危険個所の把握、非常時の退避場所や集合地点の確認、携帯が通じない場合の災害伝言ダイヤルの利用法など、各ご家庭で事前に確認していただければと思います。

【お子さんと確認されていること（調査から抜粋）】

- *「おかしもすき」という合言葉と対処法を確認している。
- * 集合地点（避難場所）を確認している。
- * 安全な場所で母に連絡する。
- * 出来るだけ情報を集める。身の安全を確保する。自身が障がい者であることを告げ助けを求める。
- * 危険な場所の回避の仕方。家に帰る地点と学校に向かう地点など。
- * まわりにいる人に助けを求めたり、まわりの人を見て考えて行動するようにと伝えている。
- * 家からバス停の間であつたら家に戻る。バスに乗車中であつたら学校へと確認している。

4、デイサービス利用時の対応

○緊急時の対応や引き取り等について、デイサービス業者と確認している内容は以下の通りです。参考にしてください。（調査より抜粋）

- * 避難マニュアルを保護者に配布している。保護者による迎え。
- * 避難場所の確認や避難訓練をしている。
- * 災害時は親による引取り。防災マニュアルあり。171災害伝言ダイヤルの活用。
- * 災害時は、親が指定場所に迎えに行く。子どもはお迎えまで待機。保護者会で話し合っている。
- * 災害時は保護者が施設まで迎えに行く。施設が危ない場合は、避難所まで引き取りに行く。
- * 事業所までお迎え・緊急時のお迎えリストに記入をお願いしている。
- * かかりつけ医や緊急連絡先の共有
- * 非常食を個別で用意。普段から避難訓練を実施し避難所まで移動の訓練あり。災害時は保護者による迎え、水害の恐れがある時は早く切り上げたり、利用中止の対応。
- * 年1回防災マニュアルを配布し、避難予定地、対応などを保護者と確認している。
- * 地震発生時のフローチャートをもっている。171で確認できることになっており、171体験や年2回避難場所までの訓練も行っている。
- * もしも迎えに行けないときのために非常食を預けている。

「防災かしの木 No,5」（3月初旬頃発行予定）に続く